

ゼニス エビデンシャル レクチャー

チタンインプラントが優れている理由 HA インプラントが注目されている理由

2013年7月28日(日)

13:00~17:30

東京国際フォーラム 会議場 G402

〒100-0005

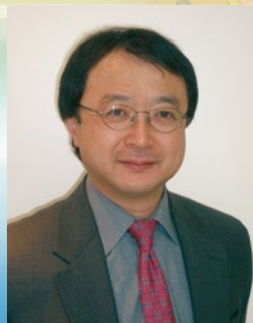
東京都千代田区丸の内3丁目5-1 TEL: 03-5221-9000

主催: ゼニス出版

後援: 公益社団法人 日本歯科先端技術研究所

参加費: 5,000 円

※公益社団法人日本歯科先端技術研究所会員の先生方は参加費無料でご案内しております。



講師

菅原 明喜 歯学博士

- 菅原歯科 院長 (東京都渋谷区)
- 日本大学 客員教授
- 徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部 非常勤講師
- NIST ADAF-PRC Research Scientist
- 日本歯科理工学会 評議員、
Dental Materials Advisor・Senior Advisor
- 経済産業省 国際標準開発推進事業委員会 委員
- National Institute of Health (NIH)
NIDCR Grant Collaborate Investigator

コーディネーター

森山 秀樹 (ゼニス出版編集長)

高齢化社会がますます進行する中、今後は加齢と共に多数歯が欠損した患者さんや無歯顎の患者さんなどといった、インプラント治療に必要な歯槽骨自体が吸収や欠損を起こしているケースも増えてくるものと考えられます。しかし、そのように骨吸収や骨欠損をきたした患者さんに対してのインプラント治療は、使用するインプラントシステムによってその考え方が異なっているのも事実です。このような状況に陥った要因の一つは、インプラント材や骨補填材に使用される材料に関する情報やエビデンスの多くが、それらを開発したメーカー主導で提供されるからなのかも知れません。現在に至っても、チタンがなぜ骨内でオッセオインテグレーション(骨結合)を起こすのかということも共通の理解はありません。これは、生体材料の特性や性質、それらの生体内挙動についての科学的なコンセンサスが得られていないということが一因と考えられます。換言すると、様々な生体材料の性質と生体内挙動を深く理解することで、インプラント治療を含む周囲組織のコントロールも可能となり、より確実で安全な治療が患者さんに提供できるようになると考えられます。

本レクチャーの演者である菅原明喜先生は、米国国立標準技術研究所(NIST)に籍を置く、生体硬組織研究の第一人者です。その菅原先生が歯科インプラントの生体内挙動や骨内安定性、骨内許容性など、骨とインプラント材のインテグレーションのメカニズムを判りやすく紐解き、さらには骨が再生されるメカニズムなども科学的根拠に基づき解説します。

お申込み方法

参加申込書にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

参加費は下記銀行口座にお振り込み下さい。

お申込みいただき、ご入金を確認できた段階で登録完了となります。

登録完了後に当日のご案内を郵送させていただきます。

振込先

りそな銀行 本郷支店 普通 1712396

有限会社ゼニス出版(ユウゲンガイシャゼニスシュッパン)

お申込み・お問い合わせは
有限会社 ゼニス出版

FAX. 03-5840-8286

TEL. 03-5840-8285

mail@zenith-press.com

http://www.zenith-press.com

2013年7月28日 ゼニスエビデンシャルレクチャー参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、FAX: 03-5840-8286 までご送信ください。

フリガナ 氏名	連絡先	TEL	FAX
		e-mail	
住所 (医院名)	〒	<input type="checkbox"/> 日本歯科先端技術研究所会員	